

「一般財団法人 東北鉱業会」現場見学会の開催状況

見学会概要

日時：平成28年8月22日（月） 13:30～15:30

場所：三陸沿岸道路「気仙沼道路」（仮称）気仙沼湾横断橋、（仮称）気仙沼2号トンネル

参加者：一般財団法人 東北鉱業会の皆さま 10名

- 三陸沿岸道路「気仙沼道路」は、復興のリーディングプロジェクトとして、一日も早い開通を目指し事業を進めており、震災からの復興及び迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に貢献するものと期待されています。
- この度、「一般財団法人 東北鉱業会」の皆さまを対象とした（仮称）気仙沼湾横断橋と（仮称）気仙沼2号トンネルの現場見学会を開催しました。
- 道路が出来上がるまでの作業を見学することにより、工事内容や進捗状況等を肌で感じ、工事への理解を深めてもらうとともに、三陸沿岸道路の目的や必要性を感じて頂くことを目的としています。
- （仮称）気仙沼湾横断橋では橋脚の施工状況を、（仮称）気仙沼2号トンネルではトンネル坑内の施工現場において、コンクリート吹き付けや切羽の施工状況を見学して頂きました。

見学の内容

■（仮称）気仙沼湾横断橋

- ①工事概要の説明（施工方法等）
 - ②P6橋脚付近の見学
- ※台風9号による対策準備のため、見学状況等の撮影は行っていません。

■（仮称）気仙沼2号トンネル

- ①工事概要の説明（施工方法等）
- ②トンネル坑内の見学（コンクリート吹き付けの状況、切羽の状況等の見学）
- ③記念撮影（トンネル終点側坑口）

見学の様子



▲工事概要の説明(現場事務所)



▲トンネル坑内の見学(セントル付近)

参加者からのご質問と回答

■（仮称）気仙沼湾横断橋

- 「朝日埠頭に桁が見えたがあれは何か？」
→県事業の大島架橋事業です。
- 「大島架橋とどこで繋がるのか？」
→大島架橋から大島浪板道路を通行し、大島ICを經由して三陸道（仙台方面）へ乗り入れできます。

■（仮称）気仙沼第2号トンネル

- 「発破掘削の火薬は何を使用しているのか？」
→硝安油剤爆薬（アンホ爆薬）を使用しています。
- 「ロックボルトの充てん材は何を使用しているのか？」
→モルタルを充てんしています。
- 「シリカレジン注入材を使用しているのか？」
→補助工法施工時に使用しています。



▲記念撮影(トンネル終点側坑口)